

多元文化

第 10 号

2020



早稻田大学多元文化学会

多元文化

Transcultural Studies

Vol.10

2020

第十号

2020



早稻田大学多元文化学会

Association for Transcultural Studies
Waseda University

編集後記

『多元文化』第十号をお届けします。コロナ禍により、教員は突然遠隔授業を行わなければならなくなり、混乱と困惑とともに、本年度が始まりました。学生会員の皆さんも、緊急事態宣言の発出で登校できないなど、それぞれにたいへんな思いをしたことと拝察します。

多元文化学会の春期大会は、中止を余儀なくされましたが、秋期大会はオンライン形式で行われ、新任の垣内景子先生のご講演と、三名の研究発表など、充実したものになりました。しかし、ゼミ単位の研究発表会は開催できず、一面では寂しい思いもいたしました。

そのような状況にもかかわらず、秋期大会のご講演・発表論文に加え、教員・スタッフらによる、計八本の論文を掲載することができ、第十号の記念としてふさわしい、幅広いテーマを扱う誌面となりました。日頃の研修の成果をご一覽いただければ幸いです。

(吉原)

多元文化 第十号 定価二〇〇〇円

令和三年二月二十八日 発行

編集者 『多元文化』編集委員会

代表 表 吉原 浩人

発行者 早稲田大学多元文化学会

代表委員 井上 文則

発行所 早稲田大学多元文化学会

〒162-8644 東京都新宿区戸山一―二四―一

早稲田大学文化構想学部多元文化論系室内

印刷所 株式会社 正文社

表紙（日本語表示）写真：ドイツ連邦共和国バイロイト、辺境伯歌劇場。1747年柿落とし。豊かな装飾をほどこしたバロック様式の内装は、ヨーロッパで最も美しいとも評される。ワーグナーは、ここに満足できず、近郊に自ら設計したバイロイト祝祭劇場を作った。2018年12月、吉原浩人撮影。

裏表紙（英語表示）：写真：ドイツ連邦共和国ニュルンベルク、フラウエン教会の仕掛け時計。1509年設置。クリスマスマーケットで有名な中央広場に面しており、定時に皇帝と7人の選帝侯が登場する。2018年12月、吉原浩人撮影。